

野村いくよ 市政報告だより

No.19

2016.1



なたにや正義参議院議員と共に（10月21日）

すべては子どもたちの今・未来のために…

気持ち新たに、新年を迎えることと思います。昨年は、野村いくよの活動にご理解とご支援をいただきましたことに心より感謝申し上げます。4期目を迎え、これまでの積み重ねてきた経験を生かしながら議会活動を精いっぱいこなしているところです。

さて、市政だより夏号でも触れましたが、若者も含む多くの人が反対アビールを国会前で連日連夜行い、日本各地で反対行動が繰り返されていたにもかかわらず「安全保障関連法」が、9月19日に参議院で成立してしまいました。これにより集団的自衛権が行使され、自衛隊が他国のために武器を持ち、実際に使う可能性が生じたことになったのです。その後も「アベ政治を許さない」行動が続いています。平和な未来を子どもたちに築くのが、私たち大人の責務です。辺野古新基地建設も原発再稼働も大きな反対のうねりがあるにもかかわらず、政府は、強行にすすめています。

また、8月末の枚方市長選挙、11月の大阪府知事大阪市長ダブル選挙では、私たちの願いがかなわず、大阪維新の会の候補者が当選しました。年末を迎える頃の会話は、「今年はええことなかったね」「なんか気落ちがして…」とネガティブな内容にどうしてもなってしまうていました。

「すべては子どもたちのために…」とこれまでもとりくんでまいりました。しかし、「教育格差」「貧困」など明らかに政治的なことで、子どもたちのしんどさは増しています。特に、女性の貧困がさらに連鎖へとつながっている現実があります。セーフティネットが機能せず、制度の狭間に落ち込んでしまっている現実、改めて女性が置かれている状況の厳しさ、複雑さに直面しています。今の政治は、なぜこんなにも人を切り捨てることができなのでしょう。

新年を迎えるにあたって、私たちが向かうべきはどんなのか、確認しなければなりません。私は、決して「平和と平等、民主主義」をあきらめず、これまでつながってきた仲間とともに確実な歩みを進めていきたいと思っています。だれをも排除しない、すべての人に居場所と出番がある社会の実現に向け、これからは政治の世界で、精いっぱい力を尽くしていきます。「数は力」といいます。これからは、皆さんと共有する思いをカタチにし、多様性がそのまま受け入れられる人にやさしいまちづくりに全力を尽くします。枚方市も新市長になり、新年度予算編成や市政運営方針などで新たな面がはっきりとしてくるでしょう。その内容を見極めながら、私の役割を果たしてまいります。7月には参議院選挙もあります。

どうぞ、これからもご指導、ご支援を賜りますことをよろしくお願いいたします。

野村いくよの 活動日誌

（抜粋）

Facebookもやっています

野村いくよ公式ホームページ URL: nomura-ikuyo.com/

9月

- 4(金) 民主党大阪府連男女共同参画委員会・安保法制学習会
- 5(土) 11区総支部安倍の暴走をただすキャンペーン（枚方市駅）母と女性教職員の会・大阪
- 6(日) さよなら原発全国集会 in 京都
- 7(月) 枚方市民チャリティゴルフ大会
- 9(水) 枚方市上下水道局管理棟内覧会
- 10(木) 枚方市議会緊急議会
大阪教組・日政連議員団会議
- 12(土) ビースウォーク実行委員会学習会（講師：尾縄さん）
高齢社会をよくする女性の会・大阪 講演会「介護保険に未来はないか?!」
- 13(日) 安保法案反対関西の集い 中之島公会堂
- 18(金) 民主党大阪府連総務・組織委員会
- 19(土) 議長杯バレーボール大会
- 26(土) ~27(日) 京丹後Xバンドレーダー米軍基地を学ぶ旅
- 28(月) 9月定例会議会本会議初日
民主党男女共同参画担当者会・女性政治スクールキックオフセミナー研修 参議院会館

10月

- 2(金) 枚方市多文化フェスティバル
- 5(月) ミニしおん会
- 6(火) 今すぐつくろう!「大阪市ヘイトスピーチ条例」緊急集会
アベ政治を許さないティッシュ配布 枚方市駅
- 7(水) さつき会館外研修 大阪少年鑑別所
- 8(木) 枚方市追悼式
- 9(金) ~11(日) 日本女性会議2015倉敷
- 11(日) ふとん太鼓・穂谷収穫祭り・地域交通安全大会
- 12(祝) 大阪めっちゃハッピー祭 岡東中央公園
- 13(火) 総務委員協議会
府連組織・総務委員会
- 14(水) 人権文化セミナー
- 17(土) 大阪教組教研分科会 交野市立第四中学校
体罰をみんなで考えるネットワーク 秋のつどい 子育てと体罰
- 18(日) 小学生陸上競技大会
- 19(月) 子どもの権利学習会 子ども情報研究センター

- 20(火) 枚方市議会本会議 所信表明
11区常任幹事会
- 21(水) 日政連議員団研修「小中一貫校」高槻市立第四中学校
光州事件学習会（講師：高橋さん）
- 22(木) スケアードストリート交通安全教室 招提中
- 24(土) 民主党大阪府連常任幹事会
- 26(月) 沖縄キャンプシュワブ前辺野古新基地反対行動参加
- 27(火) ~28(水) 枚方市議会本会議代表質問
- 28(水) 菊花展開会式 岡東中央公園
府連男女共同参画委員会・学習会「多様性は人権ーLGBTを受けとめる社会」
- 29(木) 枚方市議会本会議 議案審議
- 31(土) 虹まつり 磯島小
子どもシェルターぬつく 設立記念シンポジウム

11月

- 1(日) ワンコリアフェスティバル 大阪城公園野外ホール
連合大阪政策・政治フォーラム第2回総会
民主党大阪府連前進のつどい
- 4(水) 保護司会四中区地域懇談会
- 5(木) 大阪府市議会議長会総会
- 7(土) ウィルフェスタ2015 メセナひらかた
- 12(木) 枚方市議会本会議 全員協議会
朝鮮学校を守るための裁判支援集会
- 14(土) 女性に対する暴力をなくす運動週間「何を怖れる フェミニズムを生きた女たち」上映会&松井久子監督トークショー
連合河北内地域協議会全構成組織代表者研修会
- 15(日) 貧困と子どもの健康シンポジウム キャンパスプラザ京都
- 21(土) 春日小学校50周年記念式典
- 23(祝) 「慰安婦」問題解決のために扉をたたき続けよう! 被害者が受け入れられる解決を」集会
- 25(水) 大阪府市議会議長会研修会
- 26(木) 連合河北地区協議会総会・懇親会
- 27(金) 河北省議会議長会
「増える貧困女子〜若年女性を取り巻く性暴力と貧困の現状〜」シンポジウム ドーンセンター
- 28(土) 枚方市小学生駅伝競走大会

12月

- 1(火) 人権啓発活動 樟葉駅
- 2(水) 菊花展表彰式
- 3(木) 枚方市議会全員協議会・質問
- 4(金) 国際シンポジウム「妊娠出産子育てにやさしい社会をつくろう! フィンランドのネウボラから学ぶ」
港区立男女平等参画センター
- 5(土) 民主党女性議員ネットワーク会議近畿ブロックフォーラム
彦根キャッスルホテル
- 6(日) 9条連・近畿 総会・学習会
- 7(月) 枚方市議会本会議 議案審議
- 8(火) DV予防教育プログラム参観
- 10(木) 第12回憲法第9条を誇りにする会総会



民主党大阪府連安保法制学習会（9月4日）



「アベ政治を許さない」ティッシュ配布（10月6日）

民主
PRESS MINSHU

2016 冬号
号外

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-1-1
電話 03-5595-9988（代表）
http://www.dpj.or.jp



9条を誇りにする会フクシマフィールドワーク（7月30日）



原水禁広島大会（8月4日）



上下水道局管理棟内覧会（9月9日）



ふとん太鼓（10月11日）



辺野古新基地建設反対行動（10月26日）



虹まつり（10月31日）



友好交流都市物産展（11月19日）



民主党女性議員ネットワーク会議・近畿ブロックフォーラム（12月5日）

議会報告

9月定例月議会

市長選挙があり、9月23日から新しい市長の任期です。市長が変わらなければ、9月28日の所信表明だったのですが、任期間もないということで、10月20日に所信表明が行われ、27、28日に各派代表質問が行われました。

所信表明については、広報ひらかたにもホームページにも掲載されていますが、年度途中の市長交代ですので、大きく何かが変わって述べられたわけではなく、実際には、来年度予算の時や市政運営方針で新市長の公約実現のための取り組みが明らかになるのではないかと、思います。問題がある内容も多いですが…。

特に、今、第5次総合計画策定が進められているところで、その具体化にあたって実行計画がつくられ、

9月定例月議会

一般・特別・企業会計2014年度決算の審査が決算特別委員会(11月2、4、5、6、10日)により行われ、その結果が11月12日に報告され、認定されました。

2014年度普通会計決算の概要

- ・実質収支は19億円の黒字となり、2年連続の過去最高を更新。
- ・収入では、個人市民税は減収となったが、法人市民税の増収などにより、市税収入全体で9億円の増収。地方交付税及び臨時財政対策債は17億円の増加。
- ・歳出では、公債費が16億円の減少、人件費が6億円の増加(人事院勧告に伴う給与改定や中核市移行に伴う業務量増への対応など)。義務的経費全体では14億円の増加。投資的経費は、東部スポーツ公園整備事業や小中学校給食共同調理場整備事業、総合福祉センターのリニューアルなどを実施し、24億円の増加。

条例案件(9件)

- マイナンバー制度に関する議案(3件)
 - ・枚方市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定
 - ・枚方市手数料条例及び枚方市印鑑条例の一部改正等
 - ・枚方市印鑑条例等の一部改正
 - 枚方市植村猛アート基金条例の制定
 - 植村猛さんから芸術発展のために、という1億円寄付があり、その寄付を原資として基金を設置するための条例
 - 枚方市空家等対策協議会条例の制定
 - 枚方市空家等対策協議会を設置するための条例
 - 枚方市付属機関条例の一部改正について
 - 枚方市総合交通計画協議会の設置等を行うため、条例の一部改正
- 他2条例

それが新市長の公約とどうつながっていくのかを注視していかなければなりません。第5次総合計画については、11月12日に全員協議会で策定状況について説明がありました。以前からの変更点は、美術館に関する項目が省かれたことです。

12月3日には、全員協議会の質疑応答がおこなわれました。

通年議会が今年度から導入され、初めての緊急議会も9月10日に開催され、「焼却設備ボイラー水管一部交換工事(第一放射室)請負契約締結」議案を可決しました。

9月定例月議会は、長丁場になり、この原稿を書いている12月4日現在では、やっと議案としては半分ぐらいが終わったところです。

副議長として、円滑な議会運営に寄与しているところですが、慣例で一般質問等をしないことになっていますので、特にクローズアップされている「子どもの貧困」等について、議場で問題提起ができないのが少々つらい部分でもあります。

さまざまな集会や学習会には参加はしていますので、また「野村いくよHP」からブログ、Facebookをのぞいていただけると嬉しいです。

契約締結案件

学校共同調理場建設工場請負変更契約締結

一般会計補正予算

57億1259万円(楠葉台場跡保存整備事業経費、植村猛アート基金積立金など)

国民健康保険など3特別・1企業会計の補正予算

以上10月29日 本会議にて可決

他に、外郭団体等の経営状況(2014年度決算)を聴取副市長の人事案件(長沢さん・山下さん)

12月7日に上程された追加議案

条例案件(15件)

- 地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備
 - 職員の退職管理に関する条例(元職員による働きかけの禁止)
 - 地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備等に関する条例
- 枚方市行政不服審査に関する条例の制定
- 行政不服審査法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- 改正の概要
 - ①審理員による審理手続きの導入
 - ②第三者機関への諮問手続きの導入
 - ③不服申し立て期間の延長(60日→3か月)
- 枚方市建築審査会設置条例の一部改正
- 枚方市税条例の一部改正
 - 猶予制度の見直しと市税の申告書等に個人番号または法人番号を記載事項とする見直し

野村いくよ 新春のつどい を開催します！

日時 2016年2月6日(土) 11:30~
場所 天水苑
会費 4000円

●枚方市立消費生活センター条例の一部改正

消費者安全法改正に伴い、センターの組織運営(職員の配置、消費生活相談員の配置・処遇等)の充実
他9条例

契約締結案件

枚方市学習環境整備PFI事業にかかわる事業変更契約締結

指定管理者の指定

●枚方市立蹠蹠生涯学習市民センター・蹠蹠図書館および枚方市立牧野生涯学習市民センター・牧野図書館
⇒JTB・TRC・日本管財共同事業体(2016年4月1日から2年間)

●枚方市立総合福祉会館

●枚方市自動車駐車場

一般会計補正予算

6特別会計3事業会計補正予算

野村いくよの活動日誌ブログより

貧困と子どもの健康シンポジウム

11月15日(日)、キャンパスプラザ京都で、「貧困と子どもの健康シンポジウム」が開催され、参加しました。

「なくそう！子どもの貧困」ネットワークのMLに入っていて、そこでこのシンポジウムの案内をいただきました。

和田浩さん(健和会病院小児科)の経過報告、コーディネートにより、
講演「日本の子どもの貧困をどう考えたらよいか」
山野良一さん(千葉明德短大教授)
講演「貧困が子どもの健康に及ぼす影響」
阿部彩さん(首都大学東京教授)
調査報告「入院」
竹内一さん(佛教大学教授)
「新生児」
山口英里さん(千鳥橋病院小児科)
「外来」
佐藤洋一さん(生協子ども診療所)
そして討論が行われました。

MLで拝見するお名前のご本人から直接お話が聴けること、医療現場からの報告があることに興味を持って参加しました。

山野さんの講演は、日本の子どもの貧困の特徴を他の国との比較などデータに基づいて、説明され、改めて整理ができました。

1. 継続的な貧困率の上昇
2. 貧困家庭における就労率の高さ(ワーキングプアの多さ)
3. ひとり親家庭の貧困率の高さ
4. 母親(女性)の貧困
5. 所得再分配機能が不十分(働かない)

教育費の問題や奨学金の問題、社会保障費の問題など、すでに知っている内容でも、多くのデータが用意されていたので、切り貼りの知識ではなく、他の国と比べて全体的にどうなの

か、がよくわかりました。

家族の力や子育て能力の低下などが問題視されがちですが、個人的な問題ではなく、社会構造の中で考えるべきことであり、極めて政治的なことであることの認識も深まりました。

阿部さんの講演は、大阪市内での小・中学校を対象にした調査データを基に、子どもの健康格差が生じる要因を説明されました。

- ・医療サービスの受診抑制
- ・栄養・食生活
- ・住居

印象に残ったのが、国民皆保険が日本の誇るべき制度とされていますが、「皆保険であっても皆医療とはなっていない」という言葉でした。

そうですね…。

子ども医療費助成制度がありますが、自治体任せなので、住んでいるところで異なっています。私は、どこに住んでいても、子どもが健康に育つことに対する責任を国は果たすべきだと思っています。

阿部さんは、子どもの貧困対策における「医療(保健)界」の役割として「母子保健・学校の保健室・ファミリードクターの可能性」を提言されました。

ファミリードクターについては、会場からもいろいろと意見が出されましたが、

チャイルドパートナーの報告もあり、フィンランドのネウボラのとりくみと私の中では重なりました。

医療の現場からの調査報告からは、あらためて調査に基づく確かなことが見えてきたこともあり、これからも継続しながら、「子どもの貧困」についての議論を深めていくことになるでしょうね。

最後まで居ることはできませんでしたが、活発な討論もあり、大変有意義な時間となりました。